

農林大学校 花きコースでの取り組み

和歌山県農林大学校 谷口 正幸

農林大学校では在学中に、各コースを問わず取得できる資格・免許には、大型特殊自動車（農耕用）、毒物劇物取扱者、危険物取扱者、フォークリフト運転技能、園芸技術員（和歌山県農）等があり、全学生がこの資格取得を目指します。

これらの資格の他に、花きコースの2年生が独自で取得を目指す国家検定資格「フラワー装飾技能検定3級」があり、その資格取得に向けた取り組みについて紹介します。

本資格取得には学科試験、実技試験があり、学科試験については、本校で推奨している「園芸技術員資格認定」「日本農業技術検定2級」の合格を目指して学習する「園芸技術」の授業の中でフラワー装飾に関する学習を行っています。



また、実技試験に関しては、和歌山県職業能力開発協会を通じ外来講師（熟練技能者）を招き、実技試験に向けた指導を数回受けます。

校内で栽培している切り花の採花、調整、ラッピングは日頃の実習で行っていますが、フラワー装飾については学生によってはほとんど経験のない者から、すでに本校入学前に経験済みの者まで技能の差が大

きく、最初は出された課題について戸惑いながら作成していた学生も指導を受けるうちに徐々にこなせるようになってゆきます。

課題では花束、リボン、バスケットアレンジメント、ブートニアを作成しますが、いずれも実技試験においては、時間内に規格通りのものを作成する必要があります。



なお、2月の卒業式には花きコース2年生が卒業生全員のブートニアを作成し、皆がそれを胸につけ卒業式に出席しました。



本技能検定について、昨年度の卒業生が知事表彰を受けるなどこれからの受験者にとって資格取得に向けた大きな励みとなりました。

他の資格同様、本資格がスキルの一つとして学生の一生の財産になるかと思えます。